

平成25年度第1回四国中央市ボランティア市民活動推進協議会議事録

事務局長	<p>それでは、ただいまより平成25年度第1回ボランティア市民活動推進協議会を開始させていただきます。次第に沿って進めさせていただきます。</p> <p>まず最初に、会長と副会長の選任をいたします。ボランティア市民活動推進条例第21条では、会長の選出は委員互選によるとありますが、何かご意見はございますか。</p>
事務局長	<p>もし、ご意見が無いようでしたら、事務局案ということで、ご提案させていただき、皆さまにご了承をいただけたらと思っておりますがいかがでしょうか。</p> <p>それでは事務局案を提案させていただきます。事務局お願いします。</p>
事務局	<p>会長、副会長の事務局案を提示させていただきます。</p> <p>まず、名簿をご覧ください。様々な分野で活躍されている9名の委員さんで構成されておりますが、その中で委員2期目の6名の中から提案させていただきます。</p> <p>それでは会長ですが、大西誠二さんを選出させていただきます。大西誠二さんは、第5期推進協議会の第2次ボランティア市民活動推進計画策定にあたり、前回より検討部会の部会長を務めていただいていることから、会長に推薦いたします。</p> <p>続きまして副会長ですが、渡邊 吉子さんを選出させていただきます。選出の理由としては、大西誠二さんと同様に検討部会に参加していること、またNPO法人の理事として活躍しております。今後協働によるまちづくりを推進していくうえで重要な役割を担う団体の1つであるNPO法人の育成なども考慮し、選出させていただきました。事務局案は以上です。</p>
事務局長	<p>事務局より、会長に大西様、副会長に渡邊様と提案がございましたが、何かご意見ございませんか。</p> <p>よろしければ、拍手をもって承認いただけますでしょうか。</p> <p style="text-align: center;">—満場一致で可決—</p>
事務局長	<p>ありがとうございます。それでは、大西様、渡邊様、会長、副会長の席にお移りください。</p> <p style="text-align: center;">—会長・副会長、会長、副会長席へ移動—</p>
事務局長	<p>これからの進行は、会長をお願いするのですが、次第のとおり、会長・副会長よりご挨拶をいただきたいと思っております。よろしく願いいたします。</p>
大西会長	<p>あらためまして、こんばんは。皆さまもずっとボランティアをしてきていると思いますが、様々なボランティアがございまして。やはりまちを作るうえで、上からの指導ではなく、皆さんの少し何かしてやろうというボランティアによる活動があってこそ素晴らしいまちになると思います。そのためには、ボランティアをしたいがと、躊躇している人をどう引っ張り出すか、また市の計画の策定をどのようにしていくか、が重要となってきます。2年という長い任期になるんですが、皆さんよろしく願いいたします。</p>
渡邊副会長	<p>事務局のご紹介ありがとうございました。頑張りたいと思います。大西会長とは何度か、会長、副会長をさせていただいておりまして、力強く思います。どうかよろしく願いいたします。</p>

事務局長	それでは会長、議事進行よろしく願いいたします。
大西会長	さっそくですが、次第にのっとりまして、議題を進めさせていただきます。 議題の1番、ボランティア市民活動推進協議会について事務局説明よろしく願いいたします。
大西会長	事務局より 資料「ボランティア市民活動推進協議会について」に基づき説明 ありがとうございました。事務局からボランティア市民活動推進協議会について3つ説明がございましたが、何かご意見はございませんか。
大西会長	特に無いようでしたら、次の議題に移らせていただきます。 次のボランティアセンターについて事務局よろしく願います。  事務局より 資料「第2次 四国中央市地域福祉活動計画」に基づき説明
大西会長	ありがとうございました。ボランティアセンターについて冊子を中心にご説明いただきました。 何かご意見やご質問ございませんか。  ちょっと教えていただきたいのですが、冊子の基本目標【2】のボランティアセンターの運営についての中に福祉という文言がでてきて、イメージとして手助けという感じだが、防犯などの分野は入るのか？
近藤センター長	福祉と言うと強い者が弱い者を手助けするというイメージがありましたが、今は違って共 に生きるということ、みんなの幸せが福祉という意味ですので、広い意味での福祉はボラン ティアセンターの目指すところですよ。従来の困っている人に支援するのが狭義の福祉です。住 んで良いところと思える環境づくりは福祉と考えられ、防犯活動も福祉活動と捉えられます。現在 防犯パトロールなどの団体のボランティアセンターへの登録はなかったと思いますが、防犯協 会や見守り活動などの、ボランティアセンターに登録をせずに活動されている方は多く見られ ます。
大西会長	おそらく、防犯関係のボランティア組織は多くありおそらく警察が把握していると思うので すが、こういった団体とも一緒に活動していけたら良いと思います。
渡邊副会長	ちょっとよろしいですか、先程ボランティアセンターのパンフレットが無いということで、社協の パンフレットを持ってこられました。パンフレットは必要でないでしょうか？社協のパンフレット では福祉というキーワードが中心に取り上げられてしまうので、ボランティアセンターのパンフ レットがあれば各ボランティアの活動や言葉の縛りが少なく紹介することができる。予算がない のは分るので、カラーの冊子でなくても良い。
近藤センター長	三つの折の簡単なパンフレットはあるんですが、本日は持って来てないんです。
渡邊副会長	以前いただいたものですね？そちらの冊子を持ってきていただいた方が良かったですね。
事務局長	パンフレットについては予算の関係もございますので、今後協議して作っていきたくと思 います。
大西会長	はい、ありがとうございました。その他、何かございますか。 無い様ですので、次第(3)の第2次ボランティア市民活動推進計画の策定について、今回

	<p>の一番難しい話ですが、事務局よろしくお願いいいたします。</p> <p>事務局より 資料「第2次ボランティア市民活動計画に係る策定体制」に基づき説明</p>
大西会長	<p>ありがとうございました。図のように検討部会を2つに分けて第2次ボランティア市民活動推進計画を完成させるための体制づくりについての説明でした、ご意見ご質問ございませんか。無いようなので、私から。検討部会の人選については改めてあるのでしょうか？</p>
事務局	<p>本日の議題のその他の中で、日程等と含めてお話させていただいたのでよろしいでしょうか。</p>
大西会長	<p>はい、わかりました。それでは次第(3)を終了し、次第(4)の意見交換に移らせていただきます。まず、事務局からアンケートの調査結果について説明していただきます。</p> <p>事務局より 資料「ボランティア活動に関する市民意識調査の概要」と資料「ボランティア活動に関する市民意識調査の結果」に基づき説明</p>
大西会長	<p>はい、ありがとうございます。意識調査についてですが、若年層にアンケートをしていただいている点は良くできているなと思いました。それでは意見交換に移りますので、アンケートに基づくことでも、日頃の活動で思ったことでも良いので、ご意見いただけたらと思います。</p> <p>私から口火を切らしていただいてもよろしいでしょうか、私は今期で2期目になるのですが提言をさせていただいて思ったのですが、広報せよということです。ボランティアセンターがあまりにも知られておらず、このような状態ならボランティアセンターは必要ないのではないかと言いたくなるような広報状態です。ボランティアセンターが活用されない理由はよく分ります、それはみんながボランティアセンターの事を知らないからです。ただ、今は世間がボランティアに対してとても興味があるのだから、ボランティアセンターについて如何に広報していくかが大事だと思います。どうでしょうか。</p>
事務局長	<p>はい、先程副会長がおっしゃた、パンフレットがない件が表しているとおおり、やはりアピール不足はおっしゃるとおりだと思いますし、数字にも出ておりますので、これは予算を付けていつて対応していこうと思います。</p>
近藤センター長	<p>今のボランティアセンターの位置が魅力的な場所なのか、私でも疑問に思う。とくに、土居の方は土居の福祉センターや公民館に行けばボランティアに関しては事足りている、川之江も同様だと思うし、新宮の方はこちらまで元々来ることがほとんど無いと思う。また、ボランティアセンターが一箇所というのはどうかと思う。今後公民館との関係ができてくるなら、提言書にもあるように、各公民館に一般の事務職の方も出来る程度のボランティアコーディネートの機能を設置して、センターをより身近に感じられるようにしないと、広報しても効果があるようには思えない。</p>
大西会長	<p>待っていても広報にはならない。公民館を上手に利用することや、前にも言ったんですが学校にはボランティアをしたい子がいっぱいおり、特に高等学校ではボランティア活動がポイントになって大学入試にプラスになるので、都度、ボランティアのチラシを学校関係や公民館に配るなどの情報発信をすればよい。やはり自分たちで動かないと。施設の移転の話もあるが、それは移転ができてからのことなので、先程センター長もおっしゃったとおおり、それまでにネットワーク等を利用して広報すべきでないでしょうか。</p> <p>新田さんいかがでしょうか。</p>
新田委員	<p>ボランティアセンターを移転させるのは、それはそれでいいと思うし、極端な話、目立つところに設置すればよい。この施設を広めるという考えですが、現在、公民館は地域のボランティアコーディネイト機能を果しているが、受ける方はボランティアをしていると気付いてないし、お願いしている方もコーディネイトしているという意識はないので明確化してあげればよいのでは。</p>

事務局長	<p>ボランティアセンターは平成28年度頃に、旧NTT駐車場にできるプレハブ施設へ移転の予定となっております。地域コミュニティ活性化事業にも取り組んでおり、その中で20公民館にボランティアセンターの機能を持たせることも考えていきたい。</p>
新田委員	<p>妻鳥小学校では国の支援事業を受けて、国道11号川之江バイパスの緑地帯の清掃を年2回しているのだが、その時、ボランティアセンターからの派遣で三島秋祭りの若い子が8人来てくれたのだが、その時にどういった理由で来てくれたのか説明が無いままだった。学校事業ではボランティアを必要とすることが多くあるので、派遣依頼した方でも周知してこういう制度があることを広めてもらうべきである。</p>
近藤センター長	<p>以前から社協から学校ボランティアへの補助があるのだが、学校内でうまく引継ぎができていないようであり、一部の先生しか利用されていない。</p>
鎌倉委員	<p>ボランティアセンターに登録せずにボランティアをしている方も、多くいると思う。 ボランティアは今までは人の繋がりをお願いしてきたので、全く知らない人に頼るのは不安である。そこで、ボランティアセンターを経由することで安心と信用ができる。それがボランティアセンターのメリットと思う。また、派遣後に派遣先へ簡単なアンケートをすることによって、団体のことを把握できると思うし、団体の活動の参考にもなる。</p>
大西会長	<p>素晴らしい意見ですね。 ボランティアセンターは派遣したボランティアの活動状況は把握しておくべきだと思う。また、それによって今後のマッチングにも役立ち、充実してくると思う。</p>
鈴木委員	<p>鎌倉委員が言っているように、知っている所でボランティアをするだけじゃないので、ボランティアセンターを経由することは、ボランティアをしてもらう方も、する方も安心できる。</p>
渡邊副会長	<p>ボランティアセンターがボランティア団体、人のことを把握しているかは疑問だったので、マッチングした所くらいは、電話一本でも良いので把握しておくべきだ。それで、また信用性が上がってくると思う。 ボランティア保険は安いので、登録者には徹底させておくべきである。把握しているのか。 現在の傾聴講座などは、数度通わないといけなくて興味だけでは受講しにくい。興味がある人が継続して通えるか試す入門的な1回限りの講座や多種のメニューを揃えた講座を試してみたい。</p>
大西会長	<p>石川委員さんいかがですか。</p>
石川委員	<p>JCでも、青少年育成事業や少子高齢者化対策事業など様々な事業を行っております。そのような中で子ども相手の事業だと、会場が少し遠方になると交通手段の要望があり、自分達も行政のバスをお願いするがなかなか借りれない。ボランティアは日曜に多くなるが、行政も日曜が休みのため貸してくれない。そうすると、自分達の会費からバス代を捻出し、充実した事業ができなくなる。行政がもっと手助けしてくれたら、より良い事業ができる。また、ボランティア活動で出たゴミも行政が収集してくれたら、更に広く活動ができるようになる。毎年、行政には要望を出しているが、なかなか取り組んでくれない。場所の提供をしてくれないので活動に支障ができてきている。行政の対応をもっとオープンにして欲しい。</p>
大西会長	<p>確かに、行政主体の清掃で出たゴミなら時間を指定して受け入れてくれるが、他の団体が主体で行った場合は受け入れてもらえない。昔のように野焼きができないので、何かしら対応や補助があってもよいのかなと思う。</p>
尾藤部長	<p>ゴミに関しては、クリーンセンターの空いている時間も人員の関係もあるのでなかなか難しい</p>

	<p>ところである。地域清掃やクリーンデーは何とか対応しているが、それ以上の活動への対応は難しいが、今後の検討課題としたい。</p>
大西会長	<p>木の伐採に関しては、欲しいとの希望者も多い。ダムの流木を一般配布するときがある。草なんかは難しいが、欲しい人がいるのなら譲るのは良いことである。</p> <p>余談でした、西山さん何かございませんか。</p>
西山委員	<p>ボランティアセンターの認知度の低さには驚いた。自分も以前は利用していたが、今は場所が悪いから利用してない。アンケートを見ているとボランティアをしていない理由に、時間的余裕がないや一緒に活動する人がいないなどの理由が見受けられるが、ボランティアは1人でも気軽にできるというPRをする必要があるのではないか。</p>
事務局長	<p>ボランティアセンターの主催で、誰でも気軽に参加できるボランティアを開催も検討してみます。</p>
新田委員	<p>ボランティアの参加証明書はどこが出しているのか。学生が参加した時は学校に証明書を提出しているので、どこが発行しているかを明確化したらよい。また、その証明書を集めたらサービスを受けることができる制度があればよい。学校のボランティア部の部員が非常に少ないので、証明書が貯まれば、学校で表彰してあげるなどもう少し目立つようにしてあげればよいのではないか。そうすれば若い子のボランティアも増えると思う。</p>
事務局	<p>今回アンケートの際に、市内3高校と医療福祉専門学校にご協力いただいたが、結果を見ていると、ボランティアへの意識は高く、行政の市民協働の理念に応じてくれており、各種イベント等への多くのボランティア参加が見受けられます。</p>
近藤センター長	<p>証明書は学生は内申書に添付しているのだが、それはボランティア先の事業者が提出しております。</p>
新田委員	<p>進学用の証明書は分かるのだが、毎回した時のチェックシートのようなものがあればよい。</p>
渡邊副会長	<p>話は少し変わるのですが、アンケートのQ24のボランティアセンターの認知度ですが、図書館の利用者は市民の2割なので決して低いとは思わないんです。他市よりも利用率は高くても2割程度です。</p>
鎌倉委員	<p>マッチングが月14件となっているが、マッチングが成功したものが14件ですか？</p>
近藤センター長	<p>そうです、最終的にマッチングができたものです。</p>
渡邊副会長	<p>マッチングが失敗する大きな理由はなんでしょうか？見つけられなかったということか？</p>
近藤センター長	<p>時間的な問題が大きいです。希望している時間帯にボランティアさんが行けないという理由が一番です。また、マッチングのしたものも記録し、気になる部分は調査も行っているのですが、全くモニタリングできていないということではないんです。</p>
大西会長	<p>広報する時に、マッチングして良かったことや、団体同士と一緒に活動してこんな実績がありました。というような実例なども紹介して欲しい。</p>
近藤センター長	<p>今はそういった記事は無くお知らせが多い状況です。ボランティアセンターのホームページに様々な情報を掲載しておりますのでご覧ください。</p>
鎌倉委員	<p>マッチングの内容ですが、毎月どういうマッチングがあったのか、内容や詳細、また利用は固</p>

	<p>定の方なのか、新規の方もいるのか可能なら教えていただきたいし、一般的に見えるようにして欲しい。</p>
近藤センター長	<p>一番多いのは介護施設などの福祉関係の事業所からの、レクリエーション関係の依頼が多い。イベントなんかも増えてきています。</p>
鈴木委員	<p>ユニークな依頼もあります。県の出前講座のようなものを受けて欲しいとボランティアセンターを通じ婦人会に依頼があった。</p>
近藤センター長	<p>少し話しは違いますが、市が力を入れている認知症見守りサポーターが4,000人もいるように、ボランティアセンターに登録していない、自発的な個人のボランティアの方が遥かに多いのが現状です。</p>
大西会長	<p>個人ボランティアの方が圧倒的に多いと思うので、ボランティアセンターの方で何とか把握してあげて、フォローしてあげて欲しい。</p>
鈴木委員	<p>今は、ボランティアをしている人の年齢層が高い。なので若年層にもPRし裾野を広げて欲しい。</p>
鎌倉委員	<p>アンケートのボランティアをしない理由の一番多い、時間が無いとはそのとおりだと思う。なので、60代、70代の元気な人で時間の余裕もある人を対象とした講座をしてみてもどうか。</p>
大西会長	<p>他にございますか。 ありがとうございました。これで意見交換を終らせていただきます。 最後、今後の予定を事務局お願いします。</p>
事務局	<p>はい、今後の予定を説明させていただきます。今年度は、部会も含めて計5回の開催を考えております。審議の都合で増えることもあるかもしれませんが、原則5回の予定です。 今後の会の進め方ですが、会の冒頭には推進協議会全員で集まって、その都度のテーマを確認した上で、各部会に別れていただきます。部会で協議後、推進協議会の全体会を行い、その日の協議結果を発表し、全体で意識共有するようにいたします。 なお、部会の振分ですが、どのようにいたしましょうか。</p>
大西会長	<p>どちらかの部会をやりたいということがあればおっしゃっていただければ。</p>
事務局	<p>希望以外は、会長、副会長と相談させていただくという方法でよろしいでしょうか。</p>
大西会長	<p>そのような方法でよろしいですか。 それでは、その方法をお願いします。 年5回で2年間で10回以上になりますが、皆様のご協力お願いいたします。 それでは、これで第1回のボランティア市民活動推進協議会を終了いたします。皆さまお疲れさまでした。</p>